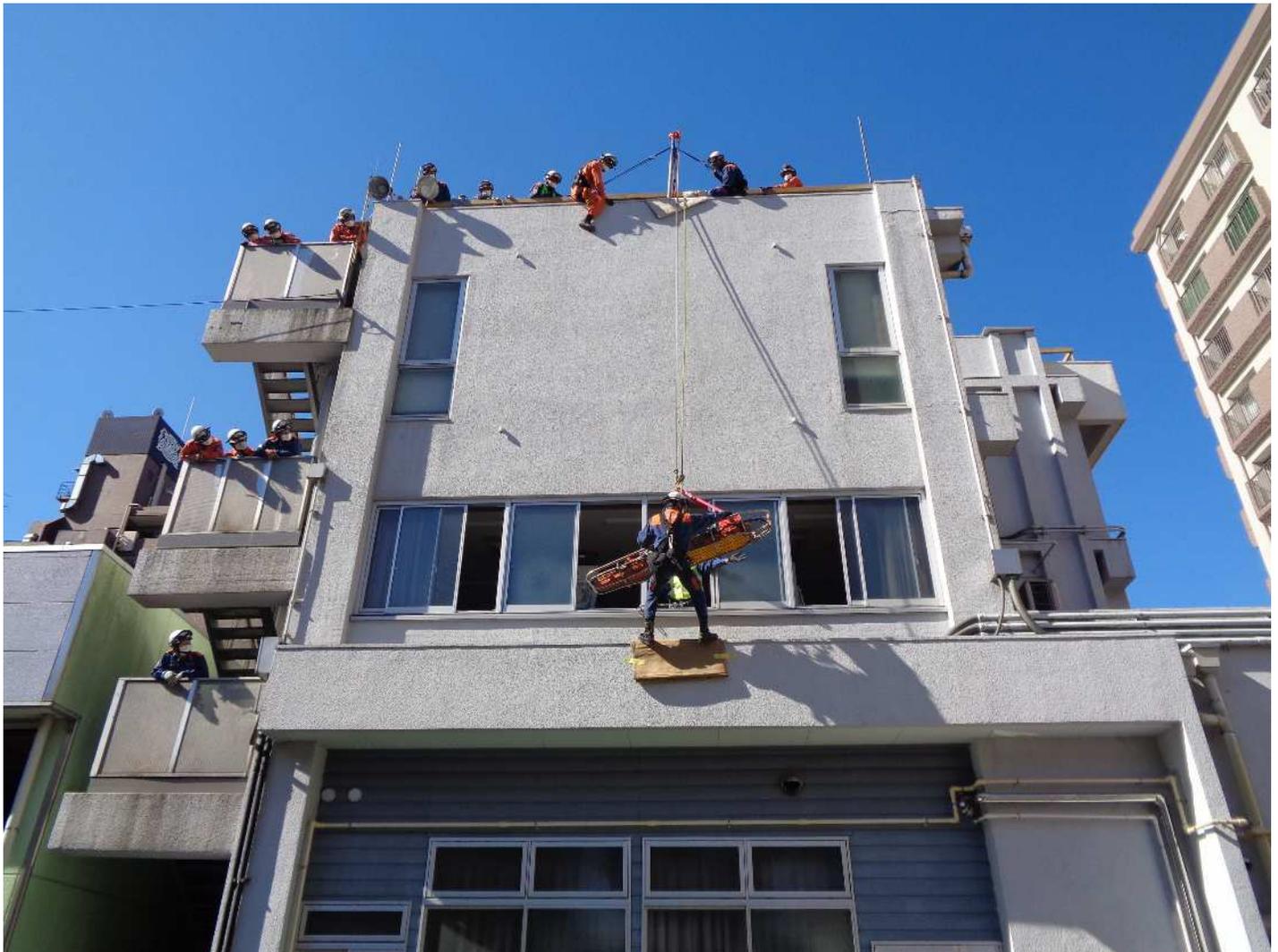


救助編



警防救助効果確認会の様子

1. 救助体制

- (1) 本市では、昭和 53 年 4 月に 32m はしご車とポンプ車により救助業務を開始し、翌年 3 月に救助工作車を配置しました。その後、平成元年に 15m 級はしご車を配置、平成 25 年より救助隊から特別救助隊に改め、平成 26 年より多発する水難事故へ対応するため潜水隊を発足させました。

近年では人口増加、生活環境の多様化、自動車や機械設備等の進化などと共に都市型災害も年々複雑多様化しています。

さらに、東京 2020 オリンピック・パラリンピックが開催される中、多くの人々が 1 か所に集まる場所では、人的災害となりえる「CBRNE 災害」・「テロ災害」が発生する可能性があることから、災害対応を円滑にできるように近隣消防、警察及び民間事業者（鉄道会社や建設会社）などの関係機関との合同訓練の機会を設け、あらゆる事案に対応できるように備えております。

- (2) 訓練状況



警防救助担当効果確認会



浦和地区人身事故早期復旧訓練



水上バイクによる水難救助訓練



救助技術指導会

署内選考（ロープブリッジ救出）

2. 救助出場状況

(1) 救助出場状況

令和3年中

事故種別 区分	火災	交通	水難	自然水	風	機械	建物等	ガス 酸欠	破裂	その他	合計
出場件数	17	9	10			2	5	2		15	60
活動件数	17	6	7			2	4	1		7	44
救助人員	5	6	6			2	4	1		7	31
活動人員	255	71	89			26	36	3		67	547
活動車両	65	24	36			8	13	1		23	170



(2) 活動概要

令和3年中 主な救助

発生月	発生場所	事故種別	活動概要
1月	下前地内	交通事故	普通自動車×自転車の交通事故。男性が自転車ごと下敷きになり救助要請。油圧ジャッキを使用し要救助者を車両下から救出したものの。
5月	大字内谷地内	水難事故	人が岸から5m付近に腹臥位で浮いているとの救助要請。検索棒を使用し要救助者を岸まで搬送。その後、陸上に引き上げ、救出したものの。
6月	美女木地内	交通事故	準中型トラックの単独事故。事故の衝撃でドアが開かなくなり、救助要請。油圧救助器具を使用し救出したものの。
6月	美女木東地内	その他の事故	子供に玄関のドアロック(U字ロック)をかけられ、救助要請。玄関外側からビニール紐を使用し、ドアロック(U字ロック)を解除し救出したものの。
8月	美女木地内	機械による事故	エレベーターが2階と3階の間で止まり、男性1名が閉じ込められたことによる救助要請。エレベーターの主電源を切断後、内扉を開放し、かぎ付きはしごを使用して救出したものの。
9月	大字新曾地内	その他の事故	要救助者本人が後ろ手の状態で手錠をかけ、長時間いたため、体動困難になり救助要請。窓を破壊し進入後、手錠を居室内にあった鍵で解錠し、救出したものの。
10月	戸田公園地内	建物等による事故	男性1名が屋外階段を踏み外し転倒した際に、手摺と階段の間に頭部が挟まり救助要請。関係者に許可を得て手摺をエアソーにて切断し救出したものの。
11月	美女木地内	交通事故	車1台が単独で横転し、要救助者1名が車内に取り残され救助要請。要救助者によりドアロックを開錠してもらい、バックドアより車内に進入。バックボードを使用し要救助者を車外へ救出したものの。
12月	早瀬地内	その他の事故	橋から約3m下部に位置する通路へ落とした自身の帽子を確認するために、フェンスに手をかけ下を覗き込んだところ、当該フェンスが可動し、約3m下部の通路へ転落し救助要請。つるべ式引上げ救助にて救出したものの。
12月	美女木地内	機械による事故	工場内に設置されたベルトコンベヤーの歯車に、従業員の右腕肘部分が挟まり救助要請。工場内に設置されたベルトコンベヤーの電源を遮断し、ターケットで止血後、歯車の六角ナットを外し、救出したものの。
12月	大字下新倉地内	水難事故	ウィンドサーフィンをしていたところ、風に煽られ転覆。風下に流され、自力で陸まで移動することが困難となり救助要請。ゴムボートにより水面検索を行っていたところ、橋上に部署した車両上部のカメラ(通信指令センターのテレビモニターと連動している)にて、ブイに掴まっている要救助者を確認。その後、要救助者をゴムボート上へ引上げ、陸まで搬送し救出したものの。

(3) 他市救助応援出場状況

令和3年中

事故種別 管轄	火災	交通	水難	自然風水	機械	建物等	ガス欠	破裂	その他	合計
蕨市消防本部										
川口市消防局										
さいたま市消防局			1							1
県南西部消防本部			1							1
東京消防庁			2						1	3
合計			4						1	5

(4) 救助活動現場



救助工作車リアウインチを使用しての救出活動①



救助工作車リアウインチを使用しての救助活動②



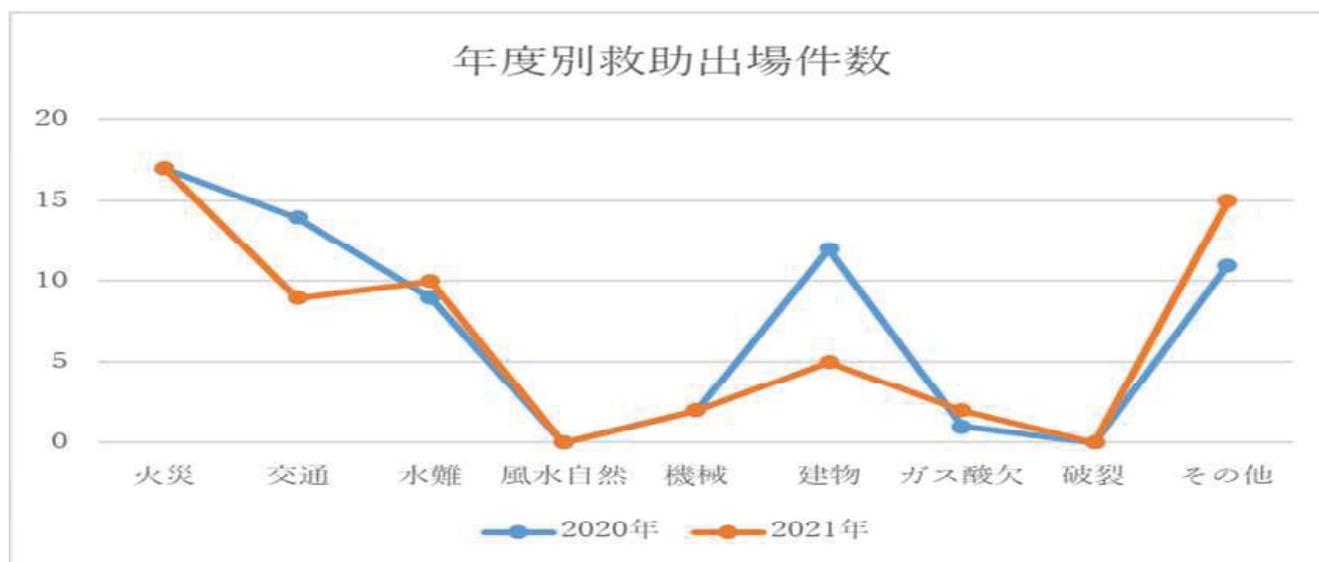
機械事故（ベルトコンベアー）



乗用車リアハッチからの救出

3. 救助出場の推移

種別 年別	火災	交通	水難	自然風水	機械	建物等	ガス欠	酸欠	破裂	その他	件出 数場	件活 数動
平成 29 年	10	6	7		1	11				17	52	46
平成 30 年	21	12	9		3	17				11	73	59
令和元年	15	14	7	4	2	23	1			43	109	58
令和 2 年	17	14	9		2	12	1			11	66	43
令和 3 年	17	9	10		2	5	2			15	60	44



4. 消防本部保有資機材

令和3年4月1日現在

一般救助用器具	保有数	重量物排除用器具	保有数	切断用器具	保有数		
<ul style="list-style-type: none"> かぎ付はしご 三連はしご ワイヤはしご 空気式救助マット 救命索発射銃 サバイバースリング及び救助用縛帯 平担架 	<ul style="list-style-type: none"> 9(2) 7(1) 2(2) 1(1) 1(1) 13(12) 1(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 油圧ジャッキ 油圧スプレッダー 可搬ウィンチ マンホール救助器具 救助用簡易起重機 マット型空気ジャッキ 大型油圧スプレッダー 救助用支柱器具 チェーンブロック 	<ul style="list-style-type: none"> 3(3) 2(2) 2(2) 1(1) 0 1(1) 1(1) 2(2) 1(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 油圧切断機 エンジンカッター ガス溶断器 チェーンソー 鉄線カッター 空気鋸 大型油圧切断機 空気切断機 コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー 	<ul style="list-style-type: none"> 3(3) 8(2) 1(1) 4(1) 6(2) 1(1) 1(1) 1(1) 0 		
破壊用器具	保有数	検知・測定用器具	保有数	呼吸保護用器具	保有数		
<ul style="list-style-type: none"> 万能斧 ハンマー 携帯用コンクリート破壊器具 削岩機 ハンマドリル 	<ul style="list-style-type: none"> 14(7) 7(1) 1(1) 1(1) 1(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 生物剤検知器 可燃性ガス測定器 有毒ガス測定器 酸素濃度測定器 放射線測定器 ※1有毒ガス検知管 ※1化学検知器 	<ul style="list-style-type: none"> 0 4(2) 6(4) 4(2) 5(4) 1(1) 1(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 空気呼吸器 空気補充用ボンベ 酸素呼吸器 簡易呼吸器 防塵マスク 送排風機 エアラインマスク 	<ul style="list-style-type: none"> 50(10) 58(2) 5(3) 2(2) 35(5) 1(1) 0 		
隊員保護用器具	保有数	水難救助用器具	保有数	検索用器具	保有数		
<ul style="list-style-type: none"> 耐電手袋 耐電衣 耐電ズボン 耐電長靴 防塵メガネ 携帯警報機 防毒マスク 化学防護服（陽圧式化学防護服を除く） 陽圧式化学防護服 耐熱服 放射線防護服 特殊ヘルメット 	<ul style="list-style-type: none"> 7(5) 7(5) 7(5) 7(5) 25(5) 24(5) 36(10) 24(4) 5(5) 2(0) 2(2) 7(5) 	<ul style="list-style-type: none"> 潜水器具 救命胴衣 水中投光器 救命浮環 浮標 救命ボート 船外機 水中スクーター 水中無線機 水中時計 水中テレビカメラ 	<ul style="list-style-type: none"> 18(18) 46(11) 18(18) 8(4) 6(2) 9(1) 9(1) 0 1(1) 18(18) 0 	<ul style="list-style-type: none"> 簡易画像探索機 	<ul style="list-style-type: none"> 2(2) 		
						除染用器具	保有数
						<ul style="list-style-type: none"> 除染シャワー 除染剤散布器 	<ul style="list-style-type: none"> 1(0) 1(0)
						山岳救助用器具	保有数
						<ul style="list-style-type: none"> 登山器具 バスケット担架 	<ul style="list-style-type: none"> 0 5(3)
						その他の救助器具	保有数
						<ul style="list-style-type: none"> 投光器 携帯投光器 携帯拡声器 携帯無線機 応急処置用セット 車両移動器具 緩降機 ロープ登降機 救助用降下機 発電機 ウォーターカッター 大型ブロアー 	<ul style="list-style-type: none"> 10(2) 28(8) 21(6) 27(3) 6(1) 2(0) 3(2) 7(7) 6(6) 14(5) 0 0
				高度救助用器具	保有数		
				<ul style="list-style-type: none"> 画像探索機 地中音響探知機 ※1熱画像直視装置 夜間用暗視装置 電磁波探査装置 二酸化炭素検査装置 水中探査装置 地震警報器 	<ul style="list-style-type: none"> 0 0 3(1) 0 0 0 0 0 		

※ この表は、救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令を基に作成したもの。

※ ()内の数は、特別救助隊保有数。

※1 救助調査業務の項目に該当しないが、当市において保有している資機材。